

会 派 代 表 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 8 年 第 2 回 那須塩原市議会定例会 (3 月)

【代 表 質 問 者】

【 2 月 2 9 日 (月) 】

T E A M 那 須 塩 原
議席 16 番 君 島 一 郎 議 員

公 明 ク ラ ブ
議席 17 番 吉 成 伸 一 議 員

志 絆 の 会
議席 14 番 眞 壁 俊 郎 議 員

か が や き
議席 20 番 山 本 は る ひ 議 員

受付番号	平成28年2月15日
第 / 号	午前 10 時 53 分受付 午後

平成28年 2月15日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 TEAM 那 須 塩 原

議席番号 16 番 君 島 一 郎 

会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成28年第2回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成28年度市政運営方針について	市長は、昨年12月27日の選挙において、多くの市民から支援を受け、1月22日に新市長に就任いたしました。11万7千人の市民は、市長が選挙で訴えた「市民の立場に立ち、市民と同じ目線で、公平・公正な市民優先の市政運営」に、大きな期待をしております。 そこで、平成28年度市政運営方針について伺います。まず、基本姿勢の第1で「人が基本という視点で」とありますが、どのような事か伺います。また、「県北の中心都市となるべくまちづくりを進める」とは、どのようなイメージを描いているのか伺います。次に、予算編成の基本的な考え方から、社会保障関係経費や市民生活に密着した経常的経費は、年間所要見込み額を計上し、投資的経費は、各計画に基づき計上し、高齢者外出支援タクシー料金助成等公約事業や政策的経費は、喫緊の課題への対応に必要な額を計上とあります。各計画に計上されていないが、議会一般質問等で具体的に事業実施を答弁している事務事業の扱いを、どのように考えているのか伺います。最後に、平成28年度の主要事業の中から、第1の柱の中で「(仮称)公共施設等総

[illegible]

受付番号	平成 28 年 2 月 15 日
第 3 号	午前 <u>午後</u> 2 時 20 分受付

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 公 明 ク ラ ブ

議席番号 17番 吉 成 伸 一 印

会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 君島寛市長の掲げる政治信条について	今、地方の抱える問題は、人口減少・少子高齢化・雇用など多岐にわたります。国は、地方創生に取り組むために「まち・ひと・しごと創生本部」を設置し課題に積極的に取り組む姿勢を見せています。国・県の支援は、もとより必要不可欠ですが、主体である「地方の力」が問われています。 この難局を乗り切るには、首長のリーダーシップが求められます。多くの市民の皆様のご支援を頂き当選された君島寛市長の政治信条について伺いたいします。また、市政運営方針の「むすびに」の中で、君島市長は、アメリカ合衆国第 16 代大統領リンカーンの名言である「意志あるところ 道は開ける」を視座に据えられています。その思いをお伺いいたします。
2. 平成 28 年度「市政運営方針」について	市政運営の基本姿勢として、1、ここ那須塩原市に住み、生活する皆さんを一番に考える市民優先の市政運営 2、国や県との関係を大事に、近隣市町とも手を携え、しっかりとした絆で結ばれた市政運営 3、公平・公正で健全な市政運営の 3 つの基本理念を掲げています。これらの理念のもとに、目指すべき「まちづく

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	り」の実現に向けた5つの柱が示されました。以下、平成28年度の主要事業を中心にお伺いいたします。
	(1) 第1の柱「市民とともに歩む那須塩原市」では、新庁舎の建設を2020年開催の東京オリンピック・パラリンピック以降にするとしました。その理由と今後の対応について伺います。
	(2) 第2の柱「安心して暮らせる那須塩原市」では、高齢者の外出タクシー料金助成事業を復活しました。その理由と併せて、ゆ〜バス・予約ワゴンバス等の公共交通の基本的な考えをお聞かせ下さい。また、子育て応援米の支給事業、小中学校へのエアコン設置事業の狙いを伺います。
	(3) 第3の柱「国・県と太いパイプでつながった那須塩原市」では、近隣市町との連携を掲げていますが、これまで以上の連携強化の具体策を伺います。
	(4) 第4の柱「元気な那須塩原市」では、企業誘致による商工業の振興、農業・観光産業の振興が示されています。具体的な振興策を伺います。
	(5) 第5の柱「人と人とが支える那須塩原市」では、人と人との支え合いから生まれる地域力が重要としています。具体的な地域力について伺います。
3. 公約等の実現について	平成28年度市政運営方針の中にあるように、市長就任から間もないため、調査が必要となる一部の公約事業については、迅速に詳細調査や制度設計を行って、今後の補正予算に追加していきたいとしています。今回の予算に計上されていない主な公約事業

受付番号	平成28年2月15日
第4号	午前 2時37分受付 (午後)

平成28年 2月15日

那須塩原市議会議長 中村芳隆様

会派名 志絆の会

議席番号14番 眞壁俊郎 印

会派代表質問通告書

平成28年第2回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 平成28年度市政運営方針について	君島市長は、平成28年度市政運営方針の基本姿勢として「こ こ那須塩原市に住み、生活する皆さんを一番に考える市民優先の 市政運営」「国や県との関係を大事に、近隣市町とも手を携え、し っかりとした絆で結ばれた市政運営」「公平、公正で健全な市政運 営」を基本理念に、目指すべきまちづくりの体系として、「市民と ともに歩む那須塩原市」「安心して暮らせる那須塩原市」「国・県 と太いパイプでつながった那須塩原市」「元気な那須塩原市」「人 と人が支える那須塩原市」の5つの柱に則し、平成28年度の主 要事業を実施することから伺うものです。 (1) 新庁舎の建設時期の延期について伺います。 (2) 「(仮称) 公共施設等総合管理計画」の策定について伺いま す。 (3) 高齢者外出支援タクシー料金助成事業について伺います。 (4) 子育て応援米支援事業について伺います。 (5) 国・県、近隣市町と連携を図りながら、「絆」を活かした市 政運営について伺います。 (6) 商工業の振興、農業の振興、観光産業の振興について伺い

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	ます。
	(7) 小中学校へのエアコンの設置など教育環境の更なる充実に
	ついて伺います。
	(8) 地方創生や定住促進の推進について伺います。
2. 人事評価制度について	行政サービスの高度化に伴う専門的能力、新たな課題に積極的
	に取り組む姿勢と創造力、状況に適切に対応できる柔軟性などが、
	これまでも増して求められています。こうした状況を背景に、
	能力・実績に基づく人事管理を徹底し、より高い能力を持った人
	材の育成と、組織全体の士気高揚や公務能率の向上を図り、住民
	サービス向上の土台をつくるものとして人事評価制度が導入され
	ました。このような中、人事評価制度の改正（業績評価導入）が
	行われることから伺うものです。
	(1) 市の現状の人事評価制度の内容について伺います。
	(2) 人事評価制度の課題・問題点について伺います。
	(3) 人事評価制度の今後の活用及び運用について伺います。
3. 一般廃棄物最終処分場につ	那須塩原市では、ごみ焼却処理後の焼却灰、不燃残渣等を本市
いて	西岩崎にある一般廃棄物最終処分場で埋設処分をしており、平成
	32年度末には埋設終了となる見通しであり、次期最終処分場の
	整備には、5年間程度の期間が必要となることから、最終処分場
	整備に必要な事項について具体的な方向性等を明らかにし、事業
	を円滑に進めるために基本構想を策定することから伺うもので
	す。
	(1) 現処分場の状況について伺います。
	(2) 最終処分場整備の課題・問題点について伺います。

受付番号	平成 28 年 2 月 15 日
第 2 号	午前 2 時 10 分受付 午後

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

会派名 かがやき

議席番号 20番 山本まゆみ 印

会 派 代 表 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における会派代表質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市政運営の考え方について	市民と行政が協働でまちづくりを進めていくためには、その目的と情報をお互いに共有することを原則に、対等な立場で議論してよいものを作り上げていくという姿勢が必要です。また市民サービスのための施策や事業は、その企画段階から市民の声を聴いて、実効性のある内容のものを作り上げることが求められています。 私たち会派かがやきは、市民の立場で、今ここに住んでいる人たちが安心して住み続けられるまちを目指して議会活動を行っています。 そこで、今後 4 年間の市政運営にあたって、以下のことについて市長の考え方を伺います。 (1) 平成 28 年度当初予算について 当初予算の中で、市長が特に新規事業として予算化したものは何か、また予算編成の中で、市長の方針として特に指示したことはどのようなことか伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 協働のまちづくりについて
	市民と行政が協働でまちづくりをしていくことに対して、市長の考えを伺います。
	(3) 情報提供と情報共有について
	市役所の持っている市政情報は基本的にすべて市民のものだと考えています。市民への情報提供と市民との情報共有について、市長の考えを伺います。
	(4) 市職員のあり方について
	協働のまちづくりを進めていくときに、実際に市民と共に考え、動くのは市職員の方々です。
	そこで、市長の描く市職員のあるべき姿（理想像）について伺います。さらに市職員に対して行った初登庁の際の訓示内容について伺います。
	(5) 放射能対策について
	東京電力福島第一原子力発電所の事故から5年が経とうとしています。市内にはいまだに放射線量の高いところがあり、不安を持ちながら子育てをしている人たちがいます。
	そこで市長の放射能対策についての考えを伺います。
2. 教育行政について	市長として、教育行政についてどのようにかかわっていくのか伺います。
3. 議会との関係について	市政運営にあたって、議会との関係をどのようにしていくのか市長の考えを伺います。

市 政 一 般 質 問

(通 告 内 容)

平成 2 8 年 第 2 回

那須塩原市議会定例会

(3 月)

【一 般 質 問 者】

【 3 月 2 日 (水)】

議席 5 番	佐藤 一則	議員
議席 7 番	櫻田 貴久	議員
議席 1 番	藤村由美子	議員
議席 3 番	相馬 剛	議員

【 3 月 3 日 (木)】

議席 2 番	星 宏子	議員
議席 23 番	平山 啓子	議員
議席 4 番	齊藤 誠之	議員
議席 11 番	高久 好一	議員

【 3 月 4 日 (金)】

議席 18 番	金子 哲也	議員
---------	-------	----

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
2. 畜産業の振興について	生乳産出額が全国4位、本州では第1位を誇る畜産業は、本市を代表する基幹産業です。しかしながら、牛乳の消費量が全国的に低迷を続けるなど、その経営環境は厳しいものがありますので、次の点についてお伺いします。 (1) 自給飼料の確保対策についてお伺いします。 (2) 家畜の改良・増殖対策についてお伺いします。 (3) 資源循環型農業の振興対策についてお伺いします。 (4) 作業の効率化・低コスト化対策についてお伺いします。 (5) 畜産振興対策の推進についてお伺いします。
3. 工業の振興について	市内産業を支える企業の多くが、世界同時不況及び東日本大震災の影響により、経営環境が厳しい状況にあり大企業の1工場が撤退しています。工業の振興は、税収の増加や雇用の創出による定住化につながり、定住化はその他の産業を活性化することから、既存の中小企業の経営体力の強化や経営安定への支援が必要です。また、新たな企業誘致に向け、誘致方式の検討を進める必要があることから、次の点についてお伺いします。 (1) 中小企業の経営基盤への支援対策についてお伺いします。 (2) 企業誘致の推進及び支援対策についてお伺いします。
4. 雇用・就労環境の充実に ついて	本市の雇用情勢は、世界同時不況による景気の低迷および東日本大震災の影響により、かつてないほどの大変厳しい状況になっています。また、国際競争の激化などを背景に、企業における非正規雇用や外部人材の活用が広がっています。一方で、新規学卒者をはじめとする若年層を中心に、求人・求職間のミスマッチ現象が顕著化していることから、次の点についてお伺いします。

受付番号	平成28年2月8日
第2号	午前 8時40分受付 午後

平成28年 2月 8日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 7番 櫻田 貴久



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. スポーツでまちおこし	日本テレビ系で放送された、第92回東京箱根間往復大学駅伝競走（箱根駅伝）の関東地区の平均視聴率は、往路の1月2日が28.0%、復路の1月3日が27.8%だった。瞬間最高視聴率は、2日が35.1%で3日は33.8%だった。関西地区の平均視聴率は、2日が17.5%、3日が15.4%だった。青山学院大学の原晋監督が連覇から1夜明け、伝統の箱根駅伝の改革私案を披露した記事がスポーツ紙に掲載されました。
	本市は駅伝が盛んな地域でもあります。そこで、駅伝によるまちおこしができればと思い、以下の点についてお伺いします。
	(1) 本市の陸上競技、とりわけ駅伝競技に対する育成・支援の現状についてお伺いします。
	(2) 那須塩原市となりこれまで陸上競技関係者から、競技施設や、環境についての要望などがでていないのかお伺いします。
	(3) 駅伝競技によるまちおこしなどは考えていないのか、本市の考えをお伺いします。
	(4) 本市には全国レベルの競技力を備え市を代表するスポーツ

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	競技がありますが、現状、どのような支援を実施しているのかお伺いします。
	(5) 本市のスポーツ振興に対するコンセプトについてお伺いします。また、スポーツ振興に対する組織についてお伺いします。
2. 観光行政について	観光経済新聞社が実施している人気温泉旅館ホテル250選に本市からも3軒が選ばれ、また、観光経済新聞が実施している第29回につぼんの温泉100選には、塩原温泉が38位(昨年47位)、板室温泉が65位(昨年96位)に選ばれました。知名度のアップにつながっているプロモーションは、非常に評価のできる施策でもあります。そこで、今後も選ばれる温泉地としてさらなるプロモーションの質の向上が必要だと思うことから、以下の点についてお伺いします。
	(1) 最近の観光客入り込み数と宿泊者数について、お伺いします。
	(2) 本市の観光地における宿泊施設数の推移についてお伺いします。
	(3) 本市のインバウンドの取り組みについてお伺いします。また、コンセプトについても改めてお伺いします。
	(4) 本市の広域観光の連携について改めてお伺いします。
	(5) 2016年の観光行政についての取り組みについて、具体的にお伺いします。
3. 公共交通について	11月に実施した議会報告会でも共通のテーマとして公共交通

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	について、市民の皆様からいろいろな要望が出されました。公共交通のサービス拡大、改善は必要不可欠だと思うことから、以下の点についてお伺いいたします。
	(1) 本市の公共交通についてのコンセプトをお伺いします。
	(2) 本市が今取り組んでいる公共交通について具体的にお伺いします。
	(3) 本市の公共交通の課題解決のために、具体的なツールとして、PDCAサイクルを活用した手法が用いられているが、市民の意見を取り込みながら次のステップに向かう本市の仕組みについてお伺いします。
	(4) 人々の交通行動を変え、将来の街の姿をも変える可能性を期待させる手法の一つに、モビリティ・マネジメントがあるが、モビリティ・マネジメントについて、本市の考えをお伺いします。
	(5) 今後も持続可能で安全・安心な公共交通に向けた基盤づくりについてお伺いします。
4. 18歳選挙権の施行に伴う 本市の取り組みと投票率の 向上について	今夏の参議院議員選挙から選挙権年齢が18歳以上に引き下げられますが、とにかくこれを機に、多くの若者に選挙に参加してほしいところです。若者に投票してもらうためには何が必要か。特にヨーロッパでは当たり前のように行っている主権者教育(シチズンシップ教育)を効果的に行っていく必要があると思います。また、投票環境の改善も必要だと思います。そこで、投票率向上並びに投票所の環境改善に関する本市の取り組みについて以下の点についてお伺いします。

受付番号	平成 28 年 2 月 10 日
第 3 号	午前 10 時 58 分受付 午後

平成 28 年 2 月 10 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 1 番

藤村 由美子

印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 市の情報管理と発信について	情報化社会の進展に伴い、国は電子自治体の推進に加速をかけています。地方自治体も駆け足でそれを追隨しています。若い世代はより新しく便利なシステムを着々と使いこなしており、行政もそれにこたえる形で情報発信をしていくことが求められる一方、コンピューターシステムになじみの薄い高齢者の多くは情報化社会に追いついて行けません。行政職員においても、社会の世代構成とほぼ同様ですから、情報システムに精通している職員ばかりではありません。また、様々な分野で情報システムの導入が進む傾向は今後も続く見込まれ、外部委託する予算規模もさらに伸びることが予想されます。非常に複雑な情報システムの導入に際し、市はどれくらい精査し評価した上で決定しているのでしょうか。限られた財源の中で、市の施策を効率的に進め、かつ確実にその目的を達成するためには、最適な情報管理ならびに発信システムの導入が必要であると考えことからお伺いします。 (1) 情報管理システムについて ① 基幹系、情報系、教育など、それぞれのシステム別に、市の予算全体の中で占める割合をお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	② これらの費用の増減について今後の長期的展望をお伺いします。
	③ これらのシステム導入時に、市としてどのような基準で選定しているのか、一定の基準はあるのかお伺いします。
	④ これらのシステムの費用対効果は、いつ誰がどのように判断しているのか、お伺いします。
	(2) 情報発信システムについて
	① 市のホームページ、きらきらホットなすしおぼら、ココシル那須塩原など、それぞれのシステム別に、維持管理並びに発信のためにかかる費用をお伺いします。
	② これらのシステム導入時に、市としてどのような基準で選定しているのか、一定の基準はあるのかお伺いします。
	③ 情報発信システムについては、庁内の使い勝手だけでなく、情報を効率的かつ確実に市民に届けることが最大の目的となります。その検証はどのようにおこなっているのか、お伺いします。
	④ 費用対効果について、いつ誰がどのように判断しているのかお伺いします。
	(3) 市職員の中に、情報システムの構築並びにコンテンツ制作に関する専門知識を持つ職員は何名いるかお伺いします。
2. 子育て情報サイトについて	子ども未来部が創設されて1年が経過しようとしています。安心して子育てできる市であると内外にアピールして、都心から若い世代に移り住んでももらいたいと願っている那須塩原市。そのため

受付番号	平成28年 2月15日
第 号	午前 9 時 56 分受付 午後

平成28年 2月15日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 3番 相 馬 剛



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1、スポーツ振興基本計画 について	平成21年3月「那須塩原市スポーツ振興基本計画」を策定し、市民主体のスポーツ活動の支援や指導者の育成、施設の充実や障害者を含めた市民にスポーツを楽しめる環境づくりを理念に、体力、年齢、技術、興味、目的に応じて「いつでも」「どこでも」「いつまでも」スポーツを楽しめる環境づくりを図り、市民の「週1回以上のスポーツ実施率50%」を目標にまいりました。 この基本計画も最終年度となり、来年度には平成29年から33年まで5カ年の新たな「スポーツ振興基本計画」策定が予定されております。 そこで、これまでの7年間の実施状況と目標に対する成果、そして現時点での課題を踏まえ、今後の計画に対する理念と進め方について伺いたく以下の質問をいたします。 (1) スポーツ活動団体の育成・支援についての実施経過と成果について伺います。 (2) 指導者育成についての実施経過と成果について伺います。 (3) 学校施設などの有効活用の実施状況と成果について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(4) スポーツイベントの開催や誘致について実施状況と成果について伺います。
	(5) 今後のスポーツ振興計画の理念と進め方そして目標について伺います。
2、小中学校のエアコン設置について	ここ数年、地球温暖化といわれる中、当地域においても例外ではなく夏場、猛暑日といわれる日が多くなっています。そこで、本市では教育環境の整備としてミストシャワーや教室に扇風機を設置し学校の暑さ対策を実施しております。昨年9月の定例会でも教室内の室温は夏場において25度から28度が望ましいという答弁がありましたが、平成25年度で真夏日・猛暑日が6日ということで、改めて暑さ対策は考えていないとのことでした。しかし、平成28年度当初予算に小学校エアコン整備事業の調査・設計費が盛り込まれており、この事業を詳細に伺いたく以下の質問をいたします。 (1) 調査の内容、時期、また方法を伺います。 (2) 設計にあたっての条件等を伺います。 (3) エアコンを設置した場合の運用規定について伺います。
3、黒磯消防署の建て替えについて	平成27年10月、那須地区消防組合が発足し、大田原市にその本部庁舎が新設され、旧黒磯那須消防組合本部は廃止され黒磯消防署となりました。本部機能は廃止されたものの黒磯地区の消防・防災の拠点であることに違いは無いと思います。しかしこの庁舎は老朽化が進み、耐震面にも問題があり早期の整備が必要と以前からいわれておりました。平成26年12月定例会では那須地

受付番号	平成 28 年 2 月 15 日
第 5 号	(午前) 10 時 26 分受付 午後

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 2 番 星 宏 子 印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 子育て世帯支援について	平成 27 年に策定した那須塩原市子ども・子育て未来プラン。 基本理念は「親と子が育ちあい 健やかにふれあえるまち なすしおばら」です。子ども・子育てをめぐる本市の現状として、未就学児と小学生の平成 27 年度から 31 年度までの人口推移をみると減少傾向となり、0 歳児は 5 年間で 68 人減少することが見込まれていると記載されています。 ひとり親世帯・6 人に 1 人といわれている貧困世帯、ほかに支援を必要とする子育て世帯のサポートを強化をすることは定住促進の推進力となり、人口減少の歯止めになると考えます。 「子育て」が「孤育て」となることにより、育児ストレスがたまってしまうたり、フルで働いているため、毎回、子どもの送迎にファミリーサポートを依頼すると、費用がかさみ利用をためらってしまう、といったことも聞いています。子育て世帯へ地域で見守りを行ったり、家庭と地域との連携体制を整えたり、また会員同士が助け合うファミリーサポートセンターを更に利用しやすくすることは、「健やかにふれあえるまち」をつくるうえで重要と考え、以下について伺います。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1) ファミリーサポートの利用は保育施設や学校等の送迎が多く、生活保護世帯や準要保護世帯には複数回依頼すると家計に大きく影響します。利用しやすくするために補助金の導入をする考えがあるかお伺いします。
	(2) 育児に悩む家庭に対して、ボランティアによる親への傾聴活動や地域連携によるアウトリーチ型支援体制づくりについて市の考えをお伺いします。
	(3) 生活保護受給世帯のシングルマザーへの支援についてお伺いします。
2. スクールソーシャルワーカーの今後の活用について	文部科学省は1月、学校の組織改革や教員の資質向上に関する平成28年度からの5カ年計画「次世代の学校・地域創生プラン」を公表しました。学外の人材を活用して教職員を支援する「チーム学校」を推進するため、福祉の専門家であるスクールソーシャルワーカー(SSW)らを平成32年度から計画的に配置する方針です。「チーム学校」は、教員と外部人材が連携して学習指導の充実、いじめや貧困などの課題に対応するという考え方です。SSWらは現在も一部の学校に配置されていますが、多くは非常勤で人数も不十分なのが現状となっているため、関連法の改正をめざし、SSWやスクールカウンセラー(SC)、部活動指導員らを法令上必要な職員と位置付けた上で、全国展開する方針です。
	本市におきましても昨年6月からSSWが配置され、現在2名で不登校やいじめ・虐待・貧困問題などに対応しています。文部科学省は各学校に法令上必要な職員として位置付けする方針ですが、今後の市の方針についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(1)SSW の効果と課題についてお伺いします。
	(2)SSW の待遇と身分の保証についてお伺いします。
	(3)SSW と SC の連携についてお伺いします。
	(4)SSW の採用基準についてお伺いします。
	(5)SSW の増員についての市の考えをお伺いします。
3. 消費者教育の充実について	近年、高度情報化、グローバル化が急速に進み、消費者生活環境が多様化、複雑化しているなかで、子どもや若者が一人の消費者として安全に自覚的に行動できるよう、早期からの消費者教育を充実させることが喫緊の課題となっています。消費者教育の推進に関する法律は、消費者教育について「消費者が主体的に消費者市民社会の形成に参画することの重要性について理解及び関心を深めるための教育」と定義するとともに、基本理念や国、地方公共団体の責務、基本方針の策定、各種施策、消費者教育推進協議会について定めています。水戸市では、増え続ける消費者被害を防止し、消費生活の安定と向上を目的とする「水戸市消費生活条例」を平成 26 年に制定しました。具体的には、平成 24 年に施行された「消費者教育に関する法律」で市町村の“努力義務”とされている「消費者教育の推進計画」の策定を“義務”とするなど、自立した市民の育成に力を注いでおり、全国的に珍しい条例として注目を集めています。 本市におきましても消費者教育を推進し、自立した市民の育成を図る必要があると考えますが、市の考えをお伺いいたします。

[illegible]

受付番号	平成 28 年 2 月 15 日
第 〇 号	①前 11 時 36 分受付 午後

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 23番

平山 啓子



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 防災について	私たちが生きている間に、確実にもう一度大地震が起きてくると言われています。子どもは生まれてくる環境を選べません。子ども、高齢者、女性、市民一人ひとりの命を守る防災環境をいち早く整えるためにお伺いいたします。 (1) 自主防災組織の進捗状況をお伺いします。 (2) 防災教育の一環として、本市内各中学校部活動に防災部設置についてお伺いします。 (3) 3月5日に危機管理アドバイザー山村武彦氏を迎えての防災士研修会が開催されます。防災士の活動の活性化を図るためにも、市内に防災士会の設立のお考えをお伺いします。 (4) 現在の防災マップを那須塩原市版防災ブック小冊子として活用してはどうかお伺いします。 (5) 今年度女性による女性のための防災訓練を実施しましたが、28年度の計画についてお伺いします。 (6) 震災による出火防止のための感震ブレーカーの取り組み、また、感震ブレーカー機能のある出火防止コンセントの普及啓発についてお伺いします。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(7) 耐震診断、耐震改修への助成についてお伺いします。
	(8) 災害時の「ペット同行避難」についてお伺いします。
2. 「あいサポート運動」について	「あいサポート運動」は、地域の誰もが障がいのある方と共に生きるサポーターになっていただく取り組みとして、平成21年に鳥取県独自の運動としてスタートしました。 様々な種別の障がいを知ることから始め、障がいを知ることにより障がいのある方が日常生活で困っていることを理解します。そして、それぞれの必要な配慮や手助けをできることから実践して行こうという運動です。「あいサポート」とは愛情の「愛」、私の「I」、支え合う「合い」に共通する「あい」と、支える・応援する意味の「サポート」を組み合わせ、障がいのある方を優しく支え、自分の意志で行動することを意味しています。 (1) 本市では、ボランティアセンターにおいて「福祉体験講座」を行っています。その取り組み、現状をお伺いします。 (2) 本市も「あいサポーター研修」に取り組み「あいサポート運動」を推進してはどうかお伺いします。
3. 高齢者就労支援について	65歳を過ぎても働きたいと考える高齢者が増える中、就労環境の整備は喫緊の課題と言えます。シニアが輝く社会の構築には、働く場所を、いかに確保し、活躍の場を提供できるかが大きなポイントになります。 (1) 3月5日に本市シルバー人材センターの設立10周年記念式典「感謝のつどい」が開催されます。高齢者の方々の健康や生きがいづくり、労働力の確保など、シルバー人材セ

受付番号 第 7 号	平成 28 年 2 月 15 日 (午前) 11 時 55 分受付 午後
---------------	--

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 4 番 齊 藤 誠 之



市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 那須塩原市保育園整備計画 (後期計画) について	本市では平成 27 年 3 月に子ども子育て未来プランを策定し、あらゆる子育て支援を計画し実施しております。中でも待機児童対策は、本市の最大の課題であるとともに、子育て世代の家庭を応援する為の施策として、定住促進を左右させる大きな要素であると考えております。この度、未来プランとの整合性も含めての整備計画の改訂が行われることから、以下の点についてお伺い致します。
	(1) 現在の待機児童対策の進捗についてお伺い致します。
	(2) 保育に従事する職員の数についてお伺い致します。
	(3) 保育士の確保についてお伺い致します。
	(4) 保育の質の向上についてお伺い致します。
	(5) 今後の那須塩原市独自の保育サービスをどのように考えているかお伺い致します。

[illegible]

受付番号	平成 28 年 2 月 15 日
第 8 号	午前 11 時 57 分受付 午後

平成 28 年 2 月 15 日

那須塩原市議会議長 中村 芳隆 様

議席番号 11 番 高 久 好 一 印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成 28 年第 2 回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 新市長の政治姿勢について	市長は昨年 12 月、市民の厳正な選挙によって選出されました。
	掲げられた公約の実現について考えを求めるものです。
	(1) 新庁舎の建設延期は、どのような計画のもとに実施するのか
	詳細を聞かせて欲しい。
	(2) 高齢者外出支援タクシー券を復活するにあたり、予算の積算
	と市民への周知について考えを求める。
	(3) 学ぶ環境を改善するため、待たれていた小中学校の普通教室へ
	のエアコンの設置は、どのように進めるのか。
	(4) 東京電力福島第 1 原発事故から 5 年、放射能から市民を守る
	ため、放射線量が高い地域の除染と希望する子ども全員の甲状腺
	線エコー検査を実施すべきと思うが、考えを求める。
	(5) 市民優先の「まちづくり」実現のため、市民の声をどのような
	方法で把握するのか聞かせて欲しい。
2. 国保税の引き下げについて	国保運営が 2018 年度から都道府県への移管が進められるなか
	市の考えを求める。
	(1) 他市町に比べ高い短期証の発行率は見直し、資格証の発行は
	やめるべきと思うが、市の考えを求める。

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
	(2) 国保財政で半分に削減された国庫負担金を元に戻すよう求める国への要請は、どのように行われているか。
	(3) 県内市町で2番目に多くため込んだ、財政調整基金を計画的に活用し、払いやすい国保税にするため引き下げを行い、健康診断を無料化すべきと思うが、市の考えを聞かせて欲しい。
3. 定住促進について	国は一極集中を是正し、地域でも若い世代の就労・結婚・子育てなど住民の希望を実現する地域の課題解決策を求めている。
	本市で豊かに生きるための施策と考えを聞かせて欲しい。
	(1) 本市の市民の転入・転出の推移と、その要因についてどのように捉えているか。
	(2) 市の合計特殊出生率はいくらか、また全国の人口増加市町村と比較し、何が必要と考えているか。
	(3) 交付金を使い、子ども医療を拡充する市町が県内にもある。市の子ども医療の現物給付を高校生まで拡充する考えはあるか。
4. 本市の水道料金について	本市の水道料金は、県内他市と比べ3番目に高く、市民の暮らしを圧迫している。
	市民生活を守るため、大きな要因である県水の引き下げ要請を県に行い、1人暮らしの高齢者のため、基本部分に10㎡を設け、節水の効果がより反映できるよう見直す考えはあるか。

受付番号	平成28年 2 月 15 日
第 7 号	(午前) 11 時 59 分受付 午後

平成28年2月15日

那須塩原市議会議長 中 村 芳 隆 様

議席番号 18番 金 子 哲 也 印

市 政 一 般 質 問 通 告 書

平成28年第2回那須塩原市議会定例会における市政一般質問を下記のとおり通告します。

記

質 問 事 項	質 問 の 内 容 (詳 細 に)
1. 国際交流について	情報技術は日進月歩の目覚ましい進化を遂げており、情報の伝達、今や地球全体を一つの世界へといざなうグローバルな時代となりました。しかし、一般市民が入手する国外に関する様々な文化や価値観については、ニュースやテレビの画面を通して目にすることがほとんどで、自分が実際に現地を訪れ、見聞きをし得られる機会はまだまだ少ないことと思われます。
	6月に予定しているオーストリア共和国リンツ市との姉妹都市締結については、大歓迎であります。今後どのように国際交流に生かしていくのか考えを伺います。
	(1) 姉妹都市締結の調印式と歓迎行事について考えを伺います。
	(2) これからのリンツ市との姉妹都市交流の進め方についての考えを伺います。
	①市民レベルの交流について
	②那須塩原市国際交流協会の位置付けと役割について
	③海外都市産業交流促進事業に、姉妹都市を締結するリンツ市との新たな交流事業の創設について
	(3) 市としてのリンツへの交流の窓口をどう考えているか。